

医療とスポーツ

責任者・コーディネーター	人間科学科体育学分野 小山 薫 講師		
担当講座・学科(分野)	人間科学科体育学分野		
担当教員	小山 薫 講師、本田 好郎 非常勤講師、高橋 健 非常勤講師、内城 寛子 非常勤講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

21世紀に入り、現在、日本人の平均寿命は男性79歳、女性86歳となり、超高齢社会とか老老介護時代といわれています。その背景には、①要介護者が2025年までには600万人以上になる。②廃用性委縮のため、加齢とともに転倒・骨折、要介護者が増加する。③平均寿命の延伸により、高齢者自身が介護にあたる割合が増加して、介護そのものが複雑化していく現状にある。このような現実を直視し、対策を考えることは、今後、医療に携わる者にとっては、大変重要なことである。本講義では、医療分野に必要な運動習慣やスポーツ習慣形成の方法、現場における人間関係づくり、スポーツにおける体力づくり（コーディネーショントレーニング、レクリエーション実習含む）など、健康寿命を伸ばすためのプログラムについて総合的な角度から、医療を捉えることを学ぶ。

・一般目標（GIO）

医療における運動づくりやスポーツ活動における体力づくり（プログラム）など、身体活動の重要性を理解、実践できることを目標に掲げ、医療人として今後、医療現場に必要なコミュニケーション能力や運動プログラムなどの企画・立案などの行動力、健康観を身につける。

・到達目標（SBO）

- 1.医療における運動・スポーツとの関わりが説明できる。
- 2.医療現場におけるチーム医療を説明できる。
- 3.医療現場におけるコミュニケーションスキルを説明、実践できる。
- 4.生涯スポーツライフにおけるファンクショナルトレーニングを説明できる。
- 5.生涯スポーツライフにおけるストレッチングを説明できる。
- 6.高齢者の運動器機能を把握し、体力測定へ活用できる。
- 7.高齢者の運動プログラムを立案作成できる。
- 8.高齢者の運動プログラムを実践できる。
- 9.医療におけるライフスキルを説明できる。
- 10.スポーツによる至高体験を説明できる。

- 11.身体と心の問題としての疲労とリラクゼーションについて説明できる。
 12.身体と心の問題としてのケガとスランプについて説明できる。
 13.医療としてのスポーツの持つ力を説明できる。
 14.医療現場におけるジェンダーと男女共同参画について説明できる。

・ 講義日程

【(矢) 東 2-D 講義室、体育館】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	スポーツライフにおけるスポーツマンシップ
4/23	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場におけるチームビルディングの構築
4/30	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	医療現場におけるコミュニケーションスキル
5/7	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	スポーツライフにおけるファンクショナルトレーニング
5/14	水	2	体育学分野	本多 好郎 非常勤講師	スポーツライフにおけるストレッチング
5/21	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	高齢者の運動器機能と体力測定
5/28	水	2	体育学分野	高橋 健 非常勤講師	高齢者の運動プログラムの作成
6/4	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	運動プログラムの実践(体育館実習)
6/11	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	医療現場におけるライフスキル
6/18	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	医療に生かすスポーツによる至高体験
6/25	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	疲労とリラクゼーション
7/2	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	受傷とスランプ
7/9	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	医療とスポーツによる復興支援
7/16	水	2	体育学分野	内城 寛子 非常勤講師	医療現場におけるジェンダーと男女共同参画の推進

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
授業で配布する資料を使用する。				

・成績評価方法

1.レポート：60%
2.出席点：40%

・特記事項・その他

講義内容によっては体育館における実習を含むので、トレーニングウェア、体育館用シューズを準備すること。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン(Sony VPCF118FJ)	1	講義資料作成・保管、プレゼン